



市・有形文化財 美術工芸品（絵画）

紙本水墨 達磨大師図 | 魚津市上村木（常泉寺）

図は禅宗寺院に多く見られる達磨図で、達磨大師の全身像と七言絶句及び落款がある。これによると中国の長干山に住む溥洽（みこくわ）という僧による画と讃で、明代（14～17世紀）の作と思われる。達磨像としては古い時代のもので、表情も比較的穏やかであるが、技巧的には、やや稚拙な感じもする。152cm×74cmと掛軸としてはかなり大きなものであるが、表装の際に両端が切られた形跡もあり、元来もっと幅の広い画であったろうと考えられる。

九年枯坐少林山衣盈無
 時掛辟□不是神光心似
 鏡雪深誰肯扣松関
 長干住山溥洽拜讃